

# 日本におけるソーシャルボットの活動実態把握に向けた研究

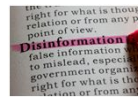
A Study for Understanding the Actual Activities of Social Bots in Japan

一葉 修平・システム分科会・情報セキュリティ大学院大学

## 1. 背景

### 背景①：Disinformation

- 広がるほど、人が信用する可能性を高める。
- ・ 人が真偽を区別する能力を失わせる。
- ・ 政治関連の場合、特に速く、速く、深く、広く拡散する。



### 背景②：ソーシャルボット

- 世論操作(Disinformationを広める)を目的とするものも。
- ・ エコーチェンバー効果(同質的なコミュニティを作り出し分極化)を可能とする。



## 2. データ収集・分析手法

テーマ：安倍元総理の国葬儀

2022年7月8日（銃撃日）～9月27日（国葬実施日）・・・（82日間）

↓  
 反対派・賛成派が用いた最多ハッシュタグについて、  
 ツイートを行ったアカウントを分析

Botometer®  
 An OSoMe project (bot-o-meter)



- ・ 反対派：「#国葬反対」
- ・ 賛成派：「#安倍さんありがとう」

- ・ 米インディアナ大学によって開発
- ・ 0から1の範囲でボットスコアを算出（AUC:0.99）

## 3. これまでの評価・考察

	ソーシャルボットの割合	ソーシャルボットによるツイートの割合
#国葬反対	22.3% (25,738/115,238)	35.8% (448,528/1,252,697)
#安倍さんありがとう	20.4% (21,860/107,333)	29.8% (111,128/372,551)
米国大統領選挙	約1/7 (約40万/約280万)	約1/5 (約380万/約2,000万)

- ・ 米国大統領選挙以上に、ソーシャルボットの活動は活発
- ・ 特に、反対派において活動は活発（賛成派と比べて）

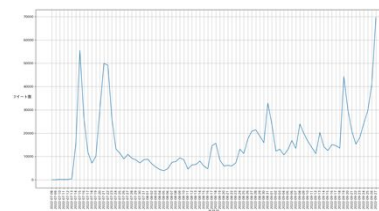
米国大統領選挙（2016年）  
 「国家や外国政府がソーシャルボットの軍団を展開して、オンライン上の会話の方向性に影響を与えることができた」と評価

## 4. 今後

- ・ 活動が判明したソーシャルボットの具体的な活動実態を分析  
 (①②は、米国大統領選挙の際のソーシャルボットの戦略)

- 例
- ① 記事の公開から短時間で拡散
  - ② 影響力のあるアカウント（フォロワー数が多い）をメンション
  - ③ 不自然にツイートが急増している日時に注目

「#国葬反対」のツイート数推移



「#安倍さんありがとう」のツイート数推移

